



9月のほけんだよ!

令和 4年 9月 1日

さくら保育園

まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすい日が増えてきました。新型コロナウイルスの影響で、思うようにプールや水遊びができない日もありましたが、それでも元気いっぱい夏を過ごすことができました。夏の疲れが出やすい時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気をつけましょう。

一部休園、登園自粛のご協力ありがとうございました。

嘱託医から、コロナウイルス感染症の主な症状として、「咳」「発熱」「頭痛」「倦怠感」があると教えていただきました。頭痛や倦怠感は、小さなお子様にはわかりにくい症状ですが、いつもと違って機嫌が悪かったり、食欲がいつもよりなかったり、ゴロゴロしているなどの症状が見られる場合があると思います。

保育園でも、お子様の様子を観察してまいります。ご家庭でお気づきの点がありましたら、担任へお知らせください。

<8月の病気・感染症の様子>

新型コロナウイルス感染症	21名
(職員8名含む)	
ヘルパンギーナ	1名
手足口病	2名
嘔吐症状	1名
下痢症状	2名
発熱症状	16名

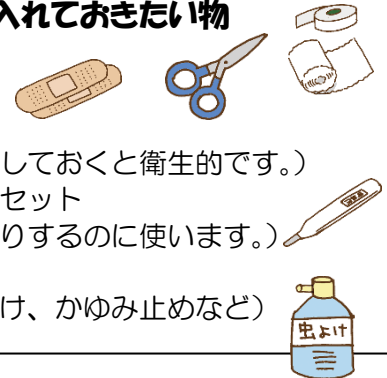
救急箱の中をチェックしてみましょう



9月9日は「救急の日」です。救急箱の中身に決まりはありません。清潔な入れ物に普段使うものを入れておきましょう。物によって、使用期限があります。この機会に中身をチェックしましょう。

救急箱の中に入れておきたい物

- ・絆創膏
- ・ガーゼ
- ・はさみ
- (救急箱専用にしておくと衛生的です。)
- ・毛抜きやピンセット
- (とげを取ったりするのに使います。)
- ・体温計
- ・常備薬 (虫よけ、かゆみ止めなど)



鼻血が出たときは...

血を見るとびっくりしますが、子どもの鼻の粘膜は敏感なため、ちょっとしたことで鼻血が出ます。正しく対応すれば数分で止まるので、落ち着いて対応しましょう。



① 鼻をぎゅっとつまむ

小鼻(左右の鼻の穴の横あたり)を強めにつまんで圧迫します。出血が治まらない時は、鼻の穴の入口近くに脱脂綿などを詰め、様子を見ます。



② うつむく姿勢で静かに過ごす

鼻血が止まるまで、静かに過ごします。子どもが鼻を触ると止まりにくいので、抱っこしたり絵本を読んであげたりすとよいでしょう。

鼻血が出たときダメなこと

- × あお向けに寝かせる
- × 上を向かせる
血がのどに流れて吐き気をもよおす場合があります。
- × うなじをたたく
鼻血を止める効果はありません。

* 20分以上出血が止まらない場合は、病気の可能性もあるので、受診しましょう。